

渡島・檜山地方税滞納整理機構の財務書類（平成30年度決算）の概要

1 貸借対照表

借 方	貸 方
【資産】	1,361 万円
投資等	859 万円
うち基金	859 万円
流動資産	502 万円
うち現金預金	502 万円
【資産合計】	1,361 万円
【負債】	0 円
【純資産】	1,361 万円
その他一般財源	1,361 万円
うち基金	859 万円
うち現金預金	502 万円
【負債・純資産合計】	1,361 万円

資産総額は1,361万円で、負債は0円、純資産は1,361万円となっている。

資産については、基金と現金預金である。基金の内訳は、定期預金となっている。
現金預金の内訳は、一般会計の歳入歳出差引額の合計（剩余金）となっている。

2 行政コスト計算書

【経常行政コスト】	3,883 万円
人件費	214 万円
物件費	803 万円
補助金等	2,866 万円
【経常収益】	3,874 万円
負担金	3,874 万円
【純経常行政コスト】	9 万円

経常行政コストは総額3,883万円であり、経常収益は3,874万円となっている。

これらの差引からなる純経常行政コストは9万円となっている。

経常行政コストを性質別に見ると、人件費（顧問弁護士・監査委員報酬、各種手当等）が214万円、物件費（物にかかるコスト）が803万円となっている。補助金等の内訳として、派遣職員の給与等負担金が2,343万円、前年度剩余金の還付分が507万円、その他負担金等が16万円で、合計2,866万円となっている。経常収益は、構成各市町負担金として3,874万円となっている。

3 純資産変動計算書

平成30年度における純資産の変動は5万円となっている。

内訳として、純経常行政コストによる減が9万円、財産運用収入（利息分）と雑入による増が4万円となっている。

4 資金収支計算書

平成30年度末の歳計現金残高は502万円となっている。

現金残高は剩余金なので、翌年度、構成各市町に還付金として支出するものである。